

科目名	知識工学Ⅱ Knowledge EngineeringⅡ			担当教員	白石 啓一		
学 年	5 年	学 期	後期	履修条件	選択	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	15C05_30912	単位区別	履修
学習目標	知識工学では、人工知能一人の知的な営みを機械によって処理する試み—の工学的側面を扱う。知識工学の基礎である述語論理・知識表現を習得し、例題を通して、応用問題へ柔軟に対応できる力を養う。教科書を基に学習項目ごとの内容と例題の解説を行う。練習問題については課題とするので、各自自習しておくこと。適宜、練習問題・類題のレポート・小テストを課す。						
進め方	教科書を基に学習項目ごとの内容と例題の解説を行う。練習問題については課題とするので、各自自習しておくこと。適宜、練習問題・類題のレポート・小テストを課す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 述語論理(4) 2. スコーレム標準形(4) 3. 導出原理(4) 4. 論理による問題解決(4)			述語論理式による知識表現を知り、論理式を適切に処理できる。 D2:12 導出と単一化を知り、簡単な問題に適用できる。D2:12			
	[後期中間試験](2)						
	5. 試験問題の解答(2) 6. 知識表現(2) 7. プロダクション・システム(4) 8. 意味ネットワーク(4)			知識表現に複数の方法があることを理解し、適切に処理できる。 D2:12 意味ネットワーク・ルールにより簡単な知識を表現できる。また、それらを使い簡単な知識処理を行うことができる。 D2:12			
	後期末試験 10. 試験問題の解答(2)						
評価方法	定期試験を 60%、レポート・発表回数または自主レポート・小テストを 40%の比率で評価する。						
履修要件	図や文字列の比較ができること。知識工学Ⅰを履修していること。						
関連科目	知識工学Ⅰ(5 学年) → 知識工学Ⅱ(5 学年)						
教 材	教科書：太原育夫著「新人工知能の基礎知識」近代科学社						
備 考	オフィスアワー：毎月曜日放課後～17:00。メール等で予約することが望ましい。メールでの質問も内容によって受付可。						

